

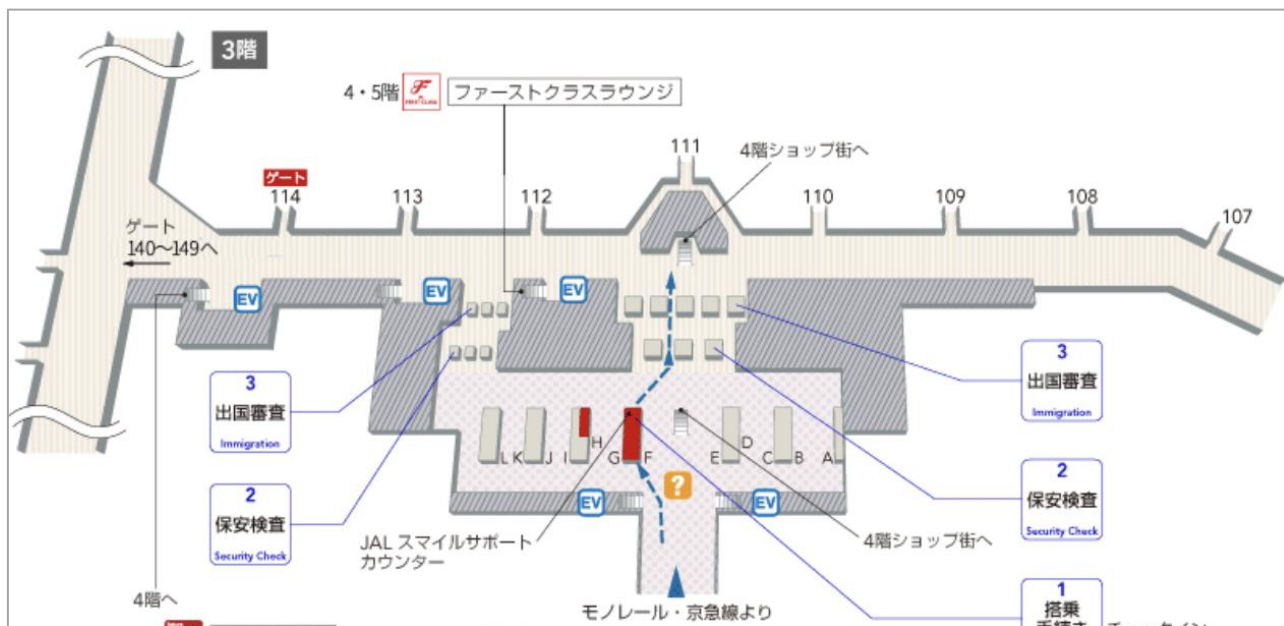
Tips on trip to Peru

v.20230718

8/5 (土) の出発は「羽田空港第3ターミナル」です！

集合時刻：午前 8:30、Fカウンター前 (下の地図で「?」のあたり)

荷物を預けずに集合してください



スケジュール (2023.07.15 現在 ; 現地時刻で示しています ; T はターミナル)

Aug 5 (Sat)

Tokyo/Haneda T3 8:45 集合

Tokyo/Haneda T3 11:45 発 JL0010 (11 時間 50 分)

Chicago/O Hare T5 9:35 着

Chicago/O Hare T3 12:40 発 AA1431 (3 時間 10 分)

Miami 1650 着

Miami 2355 発 AA0385 (5 時間 45 分)

Aug 6 (Sun)

Lima/Jorge Chavez 4:40 着

Lima/Jorge Chavez 10:50 発 LA2354 (1 時間 10 分)

Pucallpa/Capitan David Abensur 12:00 着

Del Castillo Plaza Hotel Pucallpa 泊 (1 泊)

Aug 7 (Mon)

Pucallpa 8:00 発 (車 ; 6 時間)

Tingo Maria 14:00 着

ホテル (未定) チェックイン

Kick-off Meeting at UNAS 15:30

Visit Clinic and Phytopathology Laboratories 17:00

Mixer 20:00

Aug 8 (Tue)

Visit fields of plantain and banana producers in Naranjillo, Santa

Rosa de Shapajilla and Km 53 (Fundo el Sol) 9:00–15:00

- Aug 9 (Wed)** Visit fields of plantain and banana producers in Huanganapampa
9:00–15:00
- Aug 10 (Thu)** Visit to the fields of the Empresa Tropical SAC and the Tulumayo
Experimental Station 9:00–15:00
- Aug 11 (Fri)** Launch of the project 10:00–12:00
Conclusions, recommendations and work a future 15:00–17:00
- Aug 12 (Sat)** Tingo Maria 9:00 発 (車 ; 6 時間)
Pucallpa 15:00 着
Costa del Sol Wyndham Pucallpa (1 泊)
- Aug 13 (Sun)** Pucallpa/Capitan David Abensur 12:30 発 LA2355 (1 時間 5 分)
Lima/Jorge Chavez 13:35 着
Casa Andina Standard Benavides (学生 + 渡邊さん 2 泊 ; 教
員 3 泊)
- Aug 14 (Mon)** Kick-off Meeting at UNALM/ INIA 午前～午後
- Aug 15 (Tue)** JICA Lima Office/JETRO Lima Office 午前～午後
学生 + 渡邊さん + 福原先生、野村先生
ホテル着 15:00 ごろ、出発まで食事など
有江 + 佐々木先生 + 児玉先生、柏先生
Embassy of Japan at Lima (Arie, Sasaki, Kodama, Kashiwa) 16:00

以下、学生 + 渡邊さん

Aug 15 (Tue) ホテル 20:30 発

Aug 16 (Wed) Lima/Jorge Chavez 1:00 発 JL7629 (LA2478) (8 時間 55 分)

Los Angeles TB 着

Los Angeles TB 発 JL0015 (11 時間 20 分)

Aug 17 (Thu) Tokyo/Haneda T3 17:25 着

以下、教員

Aug 16 (Wed) ホテル 16:00 発

Lima/Jorge Chavez 20:20 発 IB6650 (11 時間 15 分)

Aug 17 (Thu) Madrid/Adolfo Suarez Barajas T4S 14:35 着

Madrid/Adolfo Suarez Barajas T4 16:35 発 IB3734 (1 時間 50 分)

Lyon/ Saint Exupery T1 18:25 着

Lyon rhônexpress Lyon Part-Dieu

(https://www.rhonexpress.fr/en_GB/?path=)

イビス リヨン ガール パール・デュー (4 泊)

Aug 18 (Fri)

Aug 19 (Sat) Satellite Meeting of ICPP2023

Aug 20 (Sun)

Aug 21 (Mon) ホテル 7:30 発

Lyon Part-Dieu Lyon rhônexpress

Lyon/ Saint Exupery T1 10:30 発 BA0361 (1時間 50分)

London/Heathrow T5 11:20 着

London/Heathrow T3 19:20 発 JL0044 (13時間 55分)

Aug 22 (Tue) Tokyo/Haneda T3 17:15 着

基本情報編

○挨拶：知らない人でも目線を合わせることで相互の安全確認をすることが多いです。ホテルの廊下や様々なところで、相手の目を見て挨拶することが重要です。

おはようございます：Buenos días（ブエノス ディアス）

こんにちは（午後から7時ごろまで）：Buenas tardes（ブエナス タルデス）

こんばんは、おやすみなさい：Buenas noches（ブエナス ノーチェス）

Hi!のような気軽な挨拶（とても一般的）：Hola（オラ）

また明日：Hasta mañana（アスタ マニアーナ）

○旅券（パスポート）：自己管理すべきものですので自分なりの方法で、盗まれないよう、紛失しないよう、忘れないようにしてください。皆さんの旅券を預かって保管するなどのことはしません。旅行書などでは、常に身につけておき、ホテルにも置かないように言われています。ペルーの INIA など政府機関や日本大使館を訪問する（今回も 8/15 に予定）場合は必要になります。その日のスケジュールを参考に自己管理をお願いします。なお、ホテルのセーフティボックスに入れて、出発時に回収し忘れるケースが生じていますのでセーフティボックスを使用するときは注意が必要です。ホテル出発時に皆さんが持っているか相互確認してください。

（ちなみに、有江は圃場や街を歩く場合、買い物の際などは、旅券を洗面道具の中などに入れてスーツケースに入れてホテルに置いており、身につけません。その代わりに、カラーコピーを財布に入れて持ち歩いており、クレジットカードを使用する時に ID の提

示を求められる場合も、「これは旅券のコピー（Copiar、コピー）だ」、で問題が生じたことはほぼありません。）

○現金：必要性がどんどん低下しています。ペルーもほぼどんな店でもクレジットカード決済が可能です。しかし、食事でシェアをする場合やペルーの公共バスに乗るなどの場合には、現金があった方が便利です。

○ペルー Sol (S/)：100 円 \approx S/2.5、S/1 \approx 40 円 です。

両替は、日本や米国ではせず（できず）、ペルー到着後にクレジットカードを用いて ATM で現金を引き出すのが便利だと思います。物価は日本とあまり変わらないと思ってください。ペルーでは日本円からソルへの両替はほとんどできません。米ドルからは両替可能（ホテルなどで）ですので、持っていくなら米ドルです。

○クレジットカード：タッチ機能がついたもので VISA か MASTER があると便利です。

現金もこれで借り出すのが最も効率的だと思います。今回は、8/6 のリマ空港で国内線に乗る前に時間がありますので、クレジットカードで ATM から現金を引き出す（借りる）のが良いと思います。

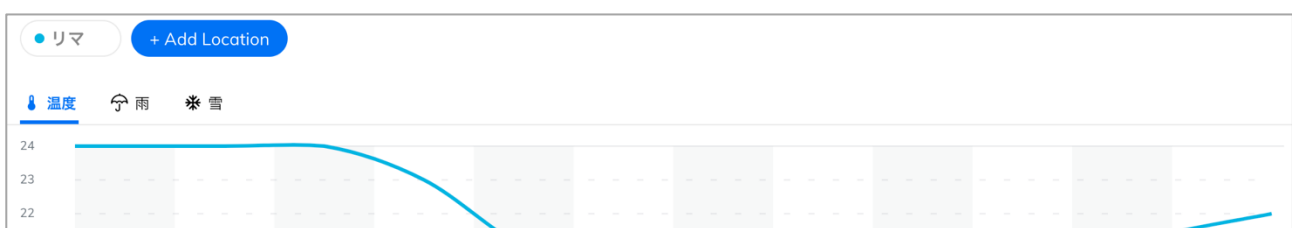
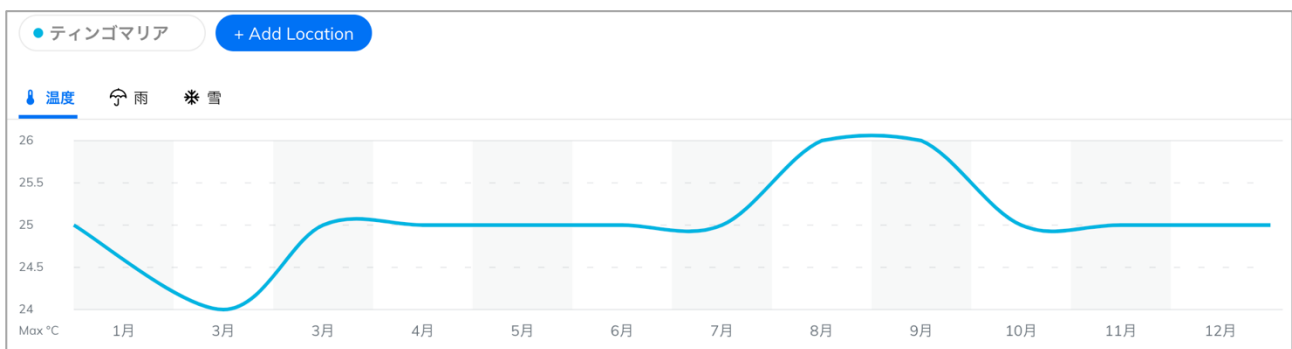
○飲料水：水道水は飲めませんので、ミネラルウォーターを購入します。500 mL ぐらいのペットボトルと、大きな 2 L ぐらいのペットボトルをスーパーマーケット等で購入し、大きな方から小さな方に移しながら消費すると安上がりです。agua sin gas が炭酸なしの水、agua con gas が炭酸水です。agua を mineral という場合もあります。氷は hielo（イエロ）ですので、氷入りの炭酸水は、agua con hielo y gas ということになります。日本からティーバッグを持っていき、ミネラルウォーターのペットボトル

に入れば、現地では購入できないペットボトル入りの茶を簡単に作れます。もちろん、コーラやインカコーラはスーパーマーケットなどで購入できます。

○時差：ペルーとの時差は 14 時間です。夏時間／冬時間はありません。したがってペルーが午後 6 時でしたら日本は翌日の午前 8 時です。米国はサマータイムを導入しますので、シカゴは午後 6 時、マイアミ午後 7 時、ロサンゼルス午後 4 時です。

○服装：8 月はペルーは冬ですが、ティンゴマリアの気温は高いです。半袖が楽ですが、蚊やダニを考えると長袖が良いです。現地人には半袖の人もいます。キックオフミーティング（8/7、8/14）の日は、少し真面目な服（襟付きシャツ等）が無難でしょう。リマは海霧が出るので朝晩はやや寒いですが、上着があると良いです。一方、車で 30 分のラ・モリーナは砂漠のため暑いことが多いです。ペルーは 8 月は全体的に雨の少ない時期です。

経由地のアメリカは夏です。上着などは荷物の中で良いでしょう。



- 靴：圃場はぬかるんでいることが多いので、それに対応できる汚れても良い靴をお勧めします。土壌病害の感染拡大防止の観点からオーバーシューズを持っています。
- 予測行動の重要性：次に何をするのかなどを自ら考えて準備をするなど、予測行動をしてください。例えば、集合して車に乗り込み長距離を走りそうでしたら、集合前にトイレに行っておく、などです。
- 危険回避：自分の身および身の回りのものは自ら守ることが原則です。常に周囲に気を配ること、身の回りのものから手を離さないこと、余分なものは持たないこと、など危険回避のためにどうしたら良いか考えてください。仲間と一緒にいると気が緩みがちですが、皆自分のことで精一杯です。
- 高山病：今回計画しているルートでは、高地は経由しません。ティンゴマリアは標高700 m 弱、周囲の圃場も 1000 m はいかないでしょう。プカルパは 150 m、リマは海岸沿いです。

飛行機編

○集合時刻・場所：その都度決めます。

○チェックイン時刻：国際線は約 3 時間前から受付が開始されます。羽田の JAL カウンターは例外で早くからチェックインができます。一方、帰りの LATAM (JAL コードシェア便の運行会社) のカウンターは約 3 時間前からチェックイン可能になりますが、それより早く着くと空港で待つことになります。帰りの米国の空港の JAL カウンターに行く必要はありませんが、約 3 時間前まで開きません。

○荷物：荷物 1 つを預けることができます (checked baggage)。また、1 つ (10 キロ以内) とハンドバッグを機内に持ち込めます (carry-on baggage)。ただし、ペルー国内線の預け入れ荷物には制限 (23 キロ 1 個まで) がありますので、これをオーバーしないように荷物を作ってください。ちなみに、採集道具や培地などを手分けして預け入れ荷物に入れていただきますので、それらも合わせてです。参考までに、大型スーツケースにぎっくり入れて 23 キロギリギリぐらい、詰め込むと 30 キロになります。培地を含む液体類・ハサミ・スコップ等は必ず預け入れ荷物に入れてください。100 ml 以下の液体の化粧品等は 1 つの ziploc 袋にまとめれば持ち込み荷物に入れることができます。ただし、アルコールなど預け入れも持ち込みも不可能な物があります (アルコール手拭きは可のようです)。荷物には簡単に読めないようにネームタグをつけましょう。他人の荷物と間違えないよう、間違われぬように目印をつけると良いと思います。

羽田で荷物をチェックインする時、今日の最終目的地はどこか聞かれますので、リマであることを伝えてください。するとリマまでの荷物タグがつけられます。また、搭乗券

と受託荷物タグもリマまで出るはずですが、ただし、シカゴ空港では荷物を一度ピックアップして再度ドロップする必要があります。マイアミ空港では必要ありません。

帰りのロサンゼルス空港でも荷物を一度ピックアップして再度ドロップする必要があります。リマ空港でチェックインする際に確認してください。

○座席：できるだけ前の方が、早く出られますので、入国審査などの列で前の方になり便利です。シートマップで席を予約できるようでしたら前の方をお勧めします。通路側、窓側は好みですが、通路側は窓側の方がトイレに行く時に邪魔されます、一方、窓側だとトイレに行く際に通路側の人に邪魔をすることになります。

○搭乗半券：帰国後パスポートコピーとともに全ての飛行機の分を農工大事務に提出する必要があります。紙でもらった場合はそれを、携帯のアプリで表示の場合は、QRコードが表示されるうちに写真を撮影・保存しておいて帰国後印刷して提出してください。忘れないように。紛失すると旅費が支払われません。

○スリッパ等：航空機にはスリッパは備えられていませんので、スリッパやサンダルなどを持っていくと便利です。空気枕、自分用のヘッドホンなどはお任せします。

○トイレ：着陸 30 分程前にシートベルト着用サインがつかます。できるだけその直前にトイレに行っておくと良いです。降機後できるだけ早く入国審査の列に並ぶための工夫です。

日本出国／帰国編

- 出国／帰国審査：機械にパスポートを置き、写真を撮影することで自動的に出国／帰国できます。ただし、機械の直後に入国管理官がいますので、念のためパスポートに捺印してもらってください。ページを開いて渡すとそこに捺印してくれます。
- 税関審査：帰国時は税関審査があります。電子化の過渡期ですが、薄黄色の用紙を帰国時の機内でもらって記入すると良いでしょう。酒類は1人3本まで無税です。機内で食べたフルーツなども含め、加熱処理をしていない植物組織（種子含む）、土壌、肉類（加熱処理をしてあるサラミなども）は持ち込めませんので、手荷物・預け入れ荷物に入れないように。稲わら帽子は植物検疫でも動物検疫でも引っかかります。植物保護分野の皆さんは、特に植物検疫、動物検疫には敏感でいてください。

米国入国／出国編

- 米国入国には査証（ビザ）が必要ですが、通常日本人が短期の商用や観光で入国する場合は、ESTA を承認されることでビザが免除されます。ESTA は飛行機に搭乗前に取得していないと搭乗できません。2 年間有効ですので早めに取りをお勧めします。ESTA は、申請公式サイト（<https://esta.cbp.dhs.gov/>）から取得してください。ブラウザーで「ESTA」と入力すると、複数の怪しいサイトがヒットしますが、手数料を取られるだけで、ここから取得できたとしてもその費用は大学からは支払われません。公式申請サイトから、「CREATE NEW APPLICATION」を選び、最後に 21 USD を支払うと、通常数時間程度以内に承認された旨の連絡がきます。領収書を印刷して、旅行伺い

とともに提出してください。 <https://jp.usembassy.gov/ja/visas-ja/esta-information-ja/>

の一番下に、申請方法のビデオなどがあります。

○経由地であっても入国が必要です。入国にはビザを持たない場合は、ESTA が必要です。

出発前に ESTA の期限などを確認してください。ESTA での入国が初めての人は、入国審査 (immigration) に際して、KIOSK (自動入国審査機械) が使えないかもしれません。

この場合はカウンターに並ぶことになります。1 時間以上かかる場合がありますので、降機したら足早に移動し、列に並ぶことをお勧めします。帰りも同様ですが、行きで ESTA で入国しているのでカウンターに並ぶ必要は無いはずです。

○KIOSK を使用できる場合、書類は必要ありませんが、KIOSK を使えない可能性も考えて、機内でもらえれば、税関申告用紙 (青い印刷) を記入しておくといいでしょう。KIOSK から出てくるレシートのようなもの (これが、税関申告用紙の代わりです) を持って、入国審査官のところでは簡単なインタビューなどがあり、そこを通過後、荷物受け取り (baggage claim) に行きます。

○KIOSK でも紙でも、「農場に行ったか？」の質問がありますが、「No」にチェックをすることが好ましいです。

○行きのシカゴ空港では入国審査後、一旦預け入れ荷物をターンテーブル (baggage claim) で自ら受け取ります。今回は、荷物を受け取ったら、全員の荷物が揃うまでターンテーブル前でお待ちください。その後、税関審査 (KIOSK から出てくるレシートあるいは記入した税関申告用紙を渡すだけでほぼ何も無いことが多いです) を通過 (もはや空港外です)、Flight connections カウンター (今回は、アメリカン航空です) で、再度荷物を

預けます。掲示に従います。その際に預け荷物についているタグを確認しますので、リマ到着までタグを外さないでください。

帰りのロサンゼルス空港も同様のようですが、リマ空港で荷物を預ける時に確認してください。（米国の一部空港では荷物のみスルーで到着地まで行くことがあります。チェックイン時の確認が必要です。）

- その後、「Departure」画面などを見て、次のフライトのターミナルやゲートを確認、当該ターミナルに移動、再度、手荷物検査などを受けて空港内に入ります。米国の検査では、ベルト、靴など全て外す必要があります。PC やジップロック入りの液体は出しておいてください。相当時間がかかり（長ければ 30 分間以上）ます。

ペルー入国／出国編

- 2023 年 5 月 29 日から、ペルー国内の国際空港における出入国時の旅券への出入国スタンプの押印が廃止されました。
- ご自身の出入国の記録等は、ペルー入国管理局のサイトにて、旅券番号・国籍・到着日等を入力することで、確認することが可能です。

<http://cel.migraciones.gob.pe/ConsultaTAMVirtual/VerificarTAM>

- ペルー入国：入国が許可をされた後に到着時免税店を通りぬけ、預け荷物をターンテーブルで受け取ります。基本的に、機内持ち込み荷物も含む全ての荷物を税関の X 線検査機に通します。概ね引っかかることはありませんが、理化学機材が引っかかりやすい（税金を支払う必要があると言われる）です。税関を通ると誰でも立ち入れる部分ですので

注意が必要です。足元に手荷物などを置かないよう、常に自分の荷物に注意を払ってください。今回は、荷物を受け取ったら、全員の荷物が揃うまでターンテーブル前でお待ちください。国内線チェックインカウンター（同じフロアーです）に皆で移動します。

○ペルー出国時には国際線搭乗口で再度荷物検査を受けます。ペットボトルも持ち込めません。

ホテル編

○パスポート：チェックイン時に提示してください。これは短期の外国人旅行者は消費税（18%）が免税になるためです。パスポートを返してもらったことを必ず確認してください。

○セーフティーボックス：使用することをお勧めしますが、出発時に必ず内部がからであることを確認してください。特にパスポートを忘れないようにしてください。

○水：ホテルの水道水で歯磨きをするぐらいでしたら腹は壊しません。

○シャワー：多くのホテルがシャワーのみ（バスタブなし）だと思いますが、これが通常です。特にティンゴマリアのホテルでは、時間帯によってはお湯になるまで時間（数十分）がかかるとお思いますので早めにシャワーをすることをお勧めします。シャンプーと石鹸はありますが、こだわりがある場合はご自身のものを持っていく（預け入れ荷物に入れること）ことをお勧めします。

○洗濯物袋：ホテルに立派な布製の洗濯物袋がある場合、袋自体が有料のことがありますので注意してください。その他、部屋にある complementary と書かれていない水、そ

の他スナック類などは基本有料です。自分で支払う必要が出ますのでご注意ください。

○湯沸かし器：基本的には備わっていません。必要な方は 220 V まで対応のものを持っていくと良いでしょう。その場合、コップも必要になります。ホテルによってはコーヒーマーカーがついている場合があります。湯は水道水を沸かしても良いですが、ミネラルウォーターの方が美味しいであろうと思います。

○朝食：全てのホテルで朝食をつけています。これは、皆が朝起きているかの確認のためでもありますので、朝食を取らない場合は連絡してください。生野菜はまず出ません。今回宿泊するホテルは外国人がよく宿泊するホテルですので、果実類を含めて過大な心配は不要です。

○コンセント：220 V です。日本と同じ A 型もありますが、C や CE 型のコンセントが多いです。変圧器は重いのでお勧めしません。220～240 V まで対応可の機器(PC や iphone などは元々対応しています。ドライヤーなどは確認してください)のみを持っていけば、コンセントの変換プラグだけで済みます。

○トイレ：ティンゴマリア等のホテルでは使用したちり紙をボウルに流さずに、それ用のゴミ箱に入れるように指示されていると思いますので指示をよく読んでください。大学などでも同様です。

○スリッパ：基本的に備えられていません。スリッパやサンダルの持参をお勧めします。

○歯磨き：基本的に備えられていませんのでご自分のものの持参をお勧めします。

○チップ：不要です。

○ホテルの支払い：朝食込みの宿泊料金以外の支払いは自分たち持ちです。チェックアウト

トをする朝は、鍵を返し、支払いをすませてください。集合時間前に、ここまで済ませてください。

フィールド編

- 蚊やダニ：予防のため長袖シャツ、あるいは半袖の上に長袖を羽織ることをお勧めします。虫除けを事前に塗ることも意味があると思います。もしマダニ類に喰いつかれた場合には、自分で取り除こうとせず、お申し出ください。医療機関で取ってもらわないと、胴体部のみがちぎれ、顎体部が残ってしまうことがあります。
- 帽子：日差しが強い傾向がありますので、帽子を持っていくと良いでしょう。首の後ろ側や耳たぶ、鼻がよく焼けますので、そこまでカバーする帽子、あるいはタオルを首に巻く、日焼け止めクリームを塗る、などが便利でしょう。

薬編

- 乗り物酔い：児玉先生によると、エスエス製薬の「アネロンニスキャップ」一択だそうです。トラベルミン等が役に立たない状況でも効果があるそうです。指定二類ですが、ネットで購入できるとのことです。ただ、眠くなったりするため、事前に試してみることをおすすめとのこと。今回、5時間以上の車の移動があり、途中で休んだりするのは危険なため、乗り物酔いしそうな方はぜひ検討してください。
- 虫除け、痒み止め：虫除けはディードの多いものが良いとされます。共用でサラテクトミスト リッチリッチを持っていく予定です。ディードを使いたく無い方は、ハーブ系

のものをご自分でご用意ください。刺された後の痒み止めは、ムヒなどご自分の好きなものを必要でしたらお持ちください。

○日焼け止め：ご自分の好きなものをお持ちください。首の後ろ側、耳たぶ、鼻などが盲点ですので、塗っておくと良いと思います。

○その他：自分でよく飲む薬を持っていくと良いでしょう。(例)ビオフェルミン下痢止め、ビオフェルミン止瀉薬、バファリン、パブロン、オロナインH 軟膏など。

街あるき編

○ティンゴマリア：小さな街です。概ね団体で行動することが多いでしょうが、早朝散歩など個人で行動をする場合は、できるだけ持ち物を減らす、明るい時間（日の出 6:30 ごろ～日の入り 18:00 ごろ）に行動する、路地や市場周りを避けるなど注意を払ってください。地図などを見る場合も、周りに注意してください。スマホもまだ狙われる可能性があると考えられます。

○リマ：大都市です。今回宿泊するホテルや JICA リマ事務所周辺は、ミラフローレス、サンイシドロと呼ばれる地域（区）で、日本の新宿などとあまり変わらないような街で比較的安全です。ダウンタウンに夜出かけることは避けてください。いずれにせよ、できるだけ持ち物を減らす、明るい時間に行動する、路地を避けるなどの基本的注意事項は変わりません。地図などを見る場合も、周りに注意してください。スマホもまだ狙われる可能性があると考えられます。

○リマの交通機関：公共交通機関としては、バス、メトロポリターノと呼ばれる専用レー

ンを走るバス、メトロ（電車）、タクシーがあります。バスは避けた方が良いでしょう。メトロは今回使いやすい場所は走っていません。タクシーは乗る前に交渉しなくてはならずお勧めできません。メトロポリターノはほぼ1路線しかありませんが、ホテルの近くを走っています。頻繁です。利用するには硬貨があった方が便利です。また、混雑していることが多く、スリに注意するようにガイドブックなどには書かれています。一方、UBERは、目的地や料金が事前に決まる上、運転手との交渉も不要で、支払いもUBERにするなど、旅行者にとっては大変便利です。日本にいる間にアプリをダウンロード、クレジットカードを設定しておく必要があるようです。

○ラ・モリーナ：リマの一地域です。大学や農業系の試験場等以外、住宅地、スーパーやレストラン等があります。今回はほぼ車での行動になります。

ショッピング編

○スーパーマーケット：店によりますが、リュックのようなものは預けないと入場できない場合があります。財布を預けてしまわないように。また、出口で、レシートと購入したものの突き合わせをされる場合がありますので、レシートを無くさぬようにしてください。スーパーマーケットでは、水類のほか、インカコーラ等ソーダ類、菓子類など購入できます。現地の野菜、魚などは良い勉強になりますので見てください。みやげもスーパーが安くて良いですが、みやげの購入は、ティンゴマリア特産のチョコレートなどを除き、リマに戻ってから（例えば、8/13夕方）にすることをお勧めします。

レストラン編

○レストラン：比較的日本人の口には合うと思います。セビチェ（魚介のマリネ）、ソパ（スープ、例えばソパデポヨはチキンスープ）、アロス（ご飯、例えば、アロスデマリスコあるいはアロスコンマリスコは、魚介類入りのピラフ）などどれを食べても美味しいです。が、量が大変多いのが通常で問題です。ペルーでは、昼が遅め（14時ごろ）で大きく、21～22時ごろに軽い食事をするようですので、夕食を19時ごろには食べたくなる日本人にはかなり厳しいです。うまく調節してください。クイ（天竺鼠＝モルモット）を食用に飼育して食べます。このほか、アルパカ等の肉（牛とほぼ変わりません）も食べることができます。

○レストランで使えるスペイン語：sopa：スープ、pescado または pez：魚、mariscos：魚介（イカ、タコ、貝類）、calamar（カラマリ）：イカ、pulpo：タコ、camaron：エビ、carne：肉、pollo（ポヨ）：鶏、cerdo：豚、cabra：ヤギ、cuy：クイ、huevo（オエボ）：卵、salsa：ソース、arroz（アロス）：米、limones：レモン、banano：バナナ、manzana（マンサナ）：リンゴ、naranja：オレンジ、papaya：パパイア、jugo（フゴ）：ジュース、aji（アヒ）：唐辛子、picante：辛み（唐辛子という意味にもなるよう）、aho：ニンニク、cilantro：コリアンダー（パクチー）、chaufa：炒飯、sal：塩、azúcar：砂糖、café：コーヒー、leche：ミルク、café con leche：ミルク入りコーヒー（インスタントコーヒーのことが多いのでこれがお勧め）、pan：パン（スペイン語が語源です）、cerveza：ビール、hielo（イエロー）：氷、agua（アグア）：水

勘定をしたい時は、La cuenta, por favor.

言葉編

○知っておくと便利なスペイン語：habitación（アビタシオン）：部屋、hotel（オテル）：
ホテル、aeropuerto：空港、数字（1～10まで使えれば通常OKです）：1, Uno; 2, Dos;
3, Tres; 4, Quatro; 5, Cinco; 6, Seis; 7, Siete; 8, Ocho; 9, Nueve; 10, Diez、はい（Yes）：
Sí、いいえ（No）：No、名前：nombre、サイン：firmar

洗濯編

○リマのホテルでは洗濯サービスがありますが比較的高価です。コインランドリーは無い
ようです。洗濯屋に重量単位で頼むことはできますが、店が少なく、営業時間が短く、
ハードルが高いです。ホテルの部屋で自分で洗って干すのが良いと思います。必要な方
は洗剤や紐を持っていくと良いと思います。私は、日本で捨てる服をとっておいて、ペ
ルーで着て順に捨てています。すると、スーツケースにみやげの場所ができます。

在ペルー日本国大使館 領事部

Av. San Felipe 3 5 6, Jesus Maria, Lima, Peru

電話: (+5 1 - 1) 2 1 9 - 9 5 5 1

consjapon@li.mofa.go.jp

https://www.pe.emb-japan.go.jp/inicio_jp.html